



## 101講座 歴史を語る美術館—素晴らしき美術遺産と文化交流

開催日:金曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:24名 申込締切日:10/11(金)



講師：市川 昌

江戸川大学名誉教授  
日本生涯教育学会会員  
日本メディア学会（前日本マス・コミュニケーション学会）会員

生涯教育の重要な学習拠点の一つに、美術館が挙げられます。世界には個性的な美術館があり、収蔵された美術品は民族と文化を反映して多種多様で魅力的です。この講座は日本とフランス、アメリカの著名な美術館と、そこに展示されている絵画を中心に歴史の謎について考えます。第1回は上野の森の国立西洋美術館で、ル・コルヴジエの建築が美しく、世界遺産に登録されました。第2回は日本の個性的な地方美術館として秋田県立美術館や倉敷市の大原美術館、島根県の足立美術館等を紹介します。第3回はモナリザと自由の女神で有名なパリのルーブル美術館、第4回は幕末から明治時代に日米文化交流に努めたボストン美術館を取り上げます。ご期待ください。

- 第1回 10月18日 ◇世界文化遺産となった上野の国立西洋美術館
- 第2回 10月25日 ◇個性的な日本の地方美術館を訪ねて
- 第3回 11月08日 ◇モナリザと自由の女神を探る・ルーブル美術館
- 第4回 11月15日 ◇知られざる日本美術の宝庫・ボストン美術館

[講師プロフィール] 東京教育大学卒業後、NHK番組制作局に入局しテレビディレクターとして教育・教養番組を制作。「世界の大学」など海外取材とともに、東南アジアおよび中南米諸国で教育番組制作を指導。文部省放送教育開発センター助教授を経て、江戸川大学教授となる。伝統文化や歴史遺跡など映像記録をもとに世界文化遺産や美術史などの資料を調査して、東西文化国際交流の歴史を研究してきた。現在は生涯学習の場で映像資料を活用した講座を実施している。

## 102講座 祭の構造と構成 -儀礼への視角〈応用編〉 —儀礼の持続と変化及び生成（創造）

開催日:木曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:20名 申込締切日:10/17(木)



講師：宇野 正人

江戸川大学名誉教授

儀礼は、個人レベルから家族・団体・地域を含む集団レベルまで、種々存在します。祭や行事における所作、礼拝対象への拝礼等、各々が独自の儀礼形式を有し、意味付けが行われています。他方、その所作が儀礼なのか習慣なのか判別しがたい場面も数多くあります。多様な儀礼の存在は、各々の社会文化歴史に起因します。時として、ある時期、儀礼が大きく変化したり、徐々に変化している場合もあります。そして、その変化に気付かない場合もあります。伝統的と思っている儀礼が存外、近年発生している場合もあります。本講座では、個人・集団における儀礼を具体的にみることにより、儀礼の意味付け、変化、あるいは生成（創造）について考察したいと思います。

- 第1回 10月24日 ◇はじめに-儀礼とは何か？ 儀礼の意味付け/儀礼と習慣の関係と区別等
- 第2回 10月31日 ◇儀礼と風習習慣（持続の実例）、社会文化の持続と歴史
- 第3回 11月14日 ◇儀礼と風習習慣（変化の実例）、社会文化の変化と歴史
- 第4回 11月21日 ◇まとめ-儀礼と風習習慣（生成創造の実例）、生成創造の意味と将来への問題

[講師プロフィール] 専門は日本民俗学・宗教学。研究分野は、日本の祭りや近代日本の宗教史。日本全国に存在する祭りの悉皆総合調査、そのデータベース化という大規模な調査研究の立案、実施、完成などを手がけた。他方、全国私立大学共通の「情報基礎教育シラバス」作成に従事し、インターネット、マルチメディア分野を担当。

## 103講座 米新政権発足と世界情勢—国際政治地図はどう変わるのか

開催日:月曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:24名 申込締切日:1/10(金)



講師:大江 志伸

江戸川大学名誉教授  
読売新聞元論説委員

2024年は約50か国・地域の首長選や国会議員選などが行われ、世界人口の半分程度が有権者となる「選挙イヤー」となりました。とりわけ前代未聞の展開となった米大統領選挙は一年間を通じ世界の関心事となり、国際政治を直接、間接に揺さぶってきました。2025年1月の米新政権発足で国際政治地図はどう変わるのか？

アメリカの内政外交、ウクライナ戦争とNATO、中ロ関係、朝鮮半島と日本の4つの視点から2025年の国際情勢を読み解きます。

第1回 1月20日 ◇米新政権の内政・外交を占う

第2回 1月27日 ◇窮地のウクライナとNATO

第3回 2月03日 ◇中露擬似同盟の今後を占う

第4回 2月17日 ◇朝鮮半島情勢と日本外交

[講師プロフィール] 1976年4月読売新聞東京本社入社。長野支局、本社編集局地方部、経済部、外報部(現・国際部)勤務のあと、韓国延世大学に社命留学し、韓国ソウル支局長、中国北京支局長(中国総局長を兼務)、タイ・バンコク駐在のアジア総局長として海外報道に長く携わる。帰国後は論説委員として社説、時事コラム、一面コラム「編集手帳」を担当し、この間、膨大な署名記事や著作物を出版。

2006年4月に本学マス・コミュニケーション学科の教授として就任。マスコミ業界への就職を希望する学生に対して、「新聞論」「国際報道論」などの科目を中心に教鞭をとる。現在は、読売新聞社友、BS松竹東急・放送番組審議会委員長としても活動中。

## 104講座 なぜ電車内の化粧はみっともないのか？

—マナーから日本社会・日本人・人間という謎を読み解く

開催日:月曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:20名 申込締切日:11/11(月)



講師:斗鬼 正一

江戸川大学名誉教授

人間も動物だから本来本能で動く。電車には人を押しのけて乗り込みたいし、腹が減れば電車内だって食べたいし、ゴミは即投げ捨てたい。眠ければ寝転がりしたいし、電話も化粧もしたいのだ。ところがなぜか、ポイ捨て、割り込みはNGで、整列乗車。居眠りはOKなのに、なぜか通話は禁止。化粧、地べたリアンは白眼視。山手線で駅弁食べたなら大ヒンシュクだ。こんなマナーなぜ決めた!と暴力振るえば警察沙汰だが、他方で元々殺し合いの格闘技は立派なスポーツで、なぜか礼儀作法が強調される。まさに人間って不思議。いったいマナーって何?こんな不思議を、そもそも化粧って?食べるって?争うって何?と、文化人類学十八番の「そもそも論」で探っていけば、人間という不思議な動物の正体が見えてくる。身近な不思議を切り口に、知的好奇心全開の“人間探検”を楽しもう。

第1回 11月18日 ◇なぜポイ捨てはいけないのか? 美化、清潔にマナーがあるわけ

第2回 11月25日 ◇なぜ早い者勝ち、暴力はNGで、先着順、スポーツは良いことなのか?  
争いにマナーがあるわけ

第3回 12月02日 ◇なぜ千尋の両親はめっちゃ食いして豚になったのか? 食にマナーがあるわけ

第4回 12月09日 ◇なぜ電車内の化粧はみっともないのか? 変身にマナーがあるわけ

[講師プロフィール]メディアでおなじみの“鬼先生”。「楽しくなければ学問じゃない」をモットーに、「チコちゃんに叱られる!」「世界一受けたい授業」などで文化人類学の楽しさを伝え、「NHKニュース7」などでエスカレーターは歩かないでと訴える唯一のエスカレーター文化研究者。江戸川大学名誉教授。元明治大学大学院・文学部兼任講師。

## 105講座 新・国立公園シリーズ「国立公園の自然と野生動物」

—動物と自然との関係・あつれき

開催日:【講義】火曜日14:00~15:30 【現地ツアー】火曜日 回数:全2回 受講料:3,000円 定員:20名

申込締切日:10/15(火)



講師:宮地 信良

江戸川大学国立公園  
研究所客員研究員・  
ネイチャーガイド

最近、日本各地でサル、シカ、クマなど野生動物と人間との軋轢(あつれき)が報じられています。しかし報道の中には必要以上に危険をおおるだけのものも見られ、今こそ動物と自然の関係について正しい認識を持つ必要があります。今回は、自分自身の体験も踏まえながら自然—動物—人間の間を歩きます。現地ツアーでは、自然の状況や動物の痕跡を見ながら紅葉の奥日光の森を歩いてみましょう。

第1回 10月22日 ◇【講義】動物と自然との関係・軋轢(あつれき)

第2回 10月29日 ◇【現地ツアー】奥日光の森を歩き、動物と自然の間を歩く

### 受講条件

- ※現地ツアーを含む内容となっておりますので、軽いハイキングの出来る健康な方が対象です。
- ※現地ツアーは雨天でも行います。ただし、荒天の場合は中止といたしますのでご了承ください。
- ※講義だけのご受講も可能です。(現地ツアーのみのご受講はできません)お申込み時にお知らせください。
- ※現地ツアーは東武日光駅にて、現地集合・現地解散を予定しています。
- ※現地ツアーは受講料の他に6,500円程度(参加人数により増減します。)の経費(バス代、昼食代、保険料等)と日光までの往復交通費が必要です。詳細は講義回にてご案内いたします。
- ※感染症の流行等、社会情勢により中止となる場合がございます。予めご了承ください。
- ※発熱等の風邪症状がある方はご参加ご遠慮願います。

## 106講座 英語で詩を読む—続・花のある風景

開催日:火曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:20名 申込締切日:10/22(火)



講師:鈴木 哲平  
江戸川大学教授



講師:水口 小百合  
江戸川大学専任講師

前期に引き続き、花を題材にした英語の詩を受講生のみなさんと読んでいきます。

日本語の詩を読むのとはまた異なり、英語の詩では、意味を理解するだけでなく、音読しつつその音やリズムに耳を澄ませ、言葉から立ち上がるイメージを思い描いていきます。英語のごく基本的な文法や語彙の知識は必要ですが、これらの詩は、辞書があれば十分読むことができます。講師は必要に応じて知識もお伝えしつつ、教室では、一人の読者として、みなさんと一緒に詩を味わい、意見を交わしてみたいと思っています。後期からのご参加も歓迎です。

※第1・2回の講義は鈴木哲平講師、  
第3・4回の講義は水口小百合講師が担当いたします。

持ち物:辞書(スマートフォン、電子辞書、紙の辞書など)なくても構いません。

第1回 10月29日 ◇バラ: William Shakespeare, "Sonnet 54"

第2回 11月12日 ◇サンザシ: S. T. Coleridge: "Lines"

第3回 11月19日 ◇スイセン: Amy Lowell, "To an Early Daffodil"

第4回 11月26日 ◇チューリップ: Sylvia Plath, "Tulips"

[講師プロフィール] 鈴木哲平講師: 東京大学大学院でフランス文学・英文学を専攻。博士号(文学)取得。スイス、フランス、イギリスの大学院に留学。2016年より江戸川大学に着任。訳書に『新訳サミュエル・ベケット戯曲全集2』(白水社、共訳)など。

水口小百合講師: 立教大学大学院で現代アメリカ詩を主に研究。在学中に米国留学にて英語教授法を専攻。2020年より江戸川大学に着任。現在はアメリカ女性詩人を中心に研究を行っている。

お申込み・お問合せ先: 江戸川大学駒木学習センター

04-7156-7715(平日9時~17時)  
stcenter@edogawa-u.ac.jp



Web申込み  
はこちらから

## 107講座 日常生活における認知機能のふしぎ

—自分の認知機能は普段どんな働きをしているのか？

開催日:火曜日10:00~11:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:20名 申込締切日:11/12(火)



講師:西村 律子

例えば、こんなことってありませんか？ある人にであったとき、その人の顔や、職業、家族構成などはわかるのに、なぜか名前だけが出てこない！これも認知心理学ではちゃんと研究されていて、この現象に名前もついています。この講座では、私たちが日ごろ感じる「あれ？なんでこうなるの？」について、認知心理学の側面から迫ります。

※認知症に関する内容の講座ではありません。あらかじめご承知おきください。

- 第1回 11月19日 ◇認知機能とは何だろう？・認知機能の基礎と認知機能をつかさどる脳について
- 第2回 12月10日 ◇なんで人の名前って覚えにくい？・顔処理と表情処理の特性
- 第3回 1月14日 ◇覚えやすいものと覚えにくいものの違いはなに？・様々な記憶の特性
- 第4回 1月28日 ◇あなたがいるから頑張れる？・他者の存在が認知機能に与える影響

江戸川大学准教授  
江戸川大学睡眠研究所次長

〔講師プロフィール〕愛知淑徳大学で博士号を取得後、日本学術振興会特別研究員、科学技術振興機構 ERATO岡ノ谷情動情報プロジェクト研究員を経て、2017年より江戸川大学に着任。また、2023年より江戸川大学睡眠研究所次長を務める。睡眠不足時の認知機能の変化や、他者の存在が認知機能に与える影響などを研究している。

## 202講座 小筆で書く 一初歩から学んでみましょう！

開催日:水曜日10:00~11:30 回数:全12回 受講料:21,600円 定員:15名 申込締切日:10/2(水)



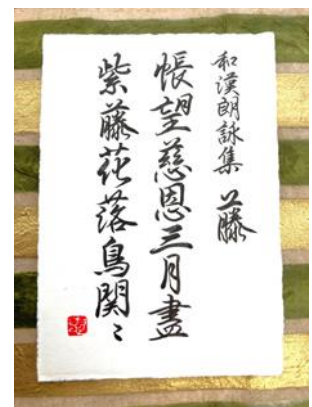
講師:村竹恵子

書家

書道、初心者のためのクラスです。

小筆の基礎から学び、のし袋やはがきなどに自分の名前が書けるようになることを目標に進めてまいります。单元ごとにお手本を用意します。一緒に楽しく練習しましょう。

- 第1回 10月09日 ◇基本線の練習
- 第2回 10月23日 ◇基本線の練習
- 第3回 11月13日 ◇漢字(楷書)の点画の練習
- 第4回 11月27日 ◇漢字(楷書)の点画の練習
- 第5回 12月04日 ◇楷書の練習
- 第6回 12月18日 ◇楷書の練習
- 第7回 1月08日 ◇漢字(行書)の点画の練習
- 第8回 1月22日 ◇漢字(行書)の点画の練習
- 第9回 2月05日 ◇行書の練習
- 第10回 2月19日 ◇行書の練習
- 第11回 3月05日 ◇楷書・行書の仕上げ
- 第12回 3月19日 ◇楷書・行書の仕上げ



持ち物:小筆、墨、硯、文鎮をご持参ください。

※すでにお持ちの物があればご持参ください。これからご準備される場合は、初回講座時にご相談いただき、その後ご準備ください。

〔講師の主な受賞歴〕

謙慎書道会展 秀逸

読売書法展 秀逸

東京書作展 特選

毎日新聞主催全国年賀はがきコンクール「日本名誉大賞」



## 205講座 スケッチから始めよう —水彩絵の具に親しむ

開催日:土曜日10:00~11:30 回数:全12回 受講料:18,000円 定員:15名 申込締切日:10/11(金)



講師：村竹清

アーティスト



水彩絵の具、初心者のための講座です。

- ・色(三要素・三原色・対比・配色)の練習
- ・構図と構成
- ・遠近法
- ・スケッチ(身近な小物を描く)練習 をします。

水彩スケッチを基礎から始めてみませんか。※材料費別途 1,500円(税込)がかかります。

第1回	10月19日	◇色とスケッチ
第2回	10月26日	◇色とスケッチ
第3回	11月09日	◇色とスケッチ
第4回	11月23日	◇構図とスケッチ
第5回	11月30日	◇構図とスケッチ
第6回	12月21日	◇構図とスケッチ
第7回	1月11日	◇遠近法とスケッチ
第8回	2月01日	◇遠近法とスケッチ
第9回	2月08日	◇遠近法とスケッチ
第10回	2月22日	◇水彩画を描く
第11回	3月01日	◇水彩画を描く
第12回	3月29日	◇水彩画を描く



持ち物：水彩絵の具(12色)・水彩筆(大・中・小)・筆洗・鉛筆HB/H各1本  
水彩紙(スケッチブック)・ねり消しゴム

※すでにお持ちの物があればご持参下さい。これからご準備される場合は、初回講座時にご相談いただき、その後ご準備ください。

[講師プロフィール] 多摩美術大学絵画学科卒業。

主な展覧会:神奈川県民ギャラリー、ギャラリーなつかなどで個展

201講座	奏でる書道(継続)	火曜日10:00~11:30	全12回	講師:村竹恵子
203講座	奏でる書道(継続)	金曜日10:00~11:30	全12回	講師:村竹恵子
204講座	奏でる書道(継続)	土曜日10:00~11:30	全12回	講師:村竹恵子
206講座	水彩スケッチを楽しむ(継続)	土曜日12:30~14:00	全12回	講師:村竹清

上記講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため今期募集を行いません。ご了承ください。

## 江戸川大学へのアクセス

- つくばエクスプレス線、東武アーバンパークライン「流山おおたかの森駅」東口バスターミナルより、無料スクールバスをご利用いただけます。
- スクールバスの運行予定は、大学Webページにてご確認ください。  
<https://www.edogawa-u.ac.jp/koutuu/>
- 自転車でお越しの際は正門と東門付近に駐輪場があります。キャンパス内の自転車通行は禁止されていますのでご注意ください。



バスの運行状況はこちら

江戸川大学駒木学習センター

〒270-0198 千葉県流山市駒木474

Tel: 04-7156-7715 Mail: stcenter@edogawa-u.ac.jp